

区のお知らせ

45.8.17 予算特集 No.228

足立区
企画室
TEL(82) 1111
足立区千住一丁目50

足立区は、区画整理事業、公営住宅の建設などによって急速に都市化が進んでいます。そして人口は、35年から40年までに105,949人も増加しました。そのため保育園・学校・公園や、誰もが利用できる区民福祉センターなど公共施設がたくさん必要であり、また公害・交通安全などの環境改善の問題も多くな

っています。これらに対処して、よりよく安定した区民生活を願って今年度予算を編成しました。予算総額は7月現在(補正予算2号まで)177億5,607万円にのぼっています。この内訳は一般会計148億4,219万円、国民健康保険特別会計26億1,348万円、用地特別会計3億40万円となっています。

区民生活の安定のために

昭和45年度予算総額177億5607万円

一般会計

歳入



注. 千万円未満四捨五入

特別区交付金——東京都が23区間の財政上の均衡を図るため交付するもので、区税収入が、その年に行なう仕事に必要な費用を上回る区は納付金を納め、その反対の区は交付金を受けることになっています。足立区はこの特別区交付金を23区の中で一番多く受けており、61億7千万円、これは歳入の41.6%を占めています。

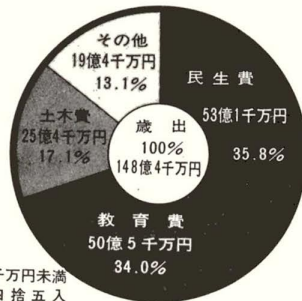
特別区税——区民税・軽自動車税・たばこ消費税・電気ガス税の収入を合わせたもので35億6千万円です。足立区の区民税収入は22億6千万円で、他区に比べて少なく、23区平均を大きく下回っています。これは18歳から60歳を生産年齢とした場合、35歳以下の若年生産層が60.4%を占めていること。そして全体的には収入の少ない人が多いためです。このため一世帯あたりの住民税負担額

(表1参照)も最下位となっています。また、たばこ消費税は販売本数にかけられ7億2千万円、電気ガス税は使用量にかけられ5億1千万円がそれぞれ見込まれています。

国庫支出金——国が使い道を決めて、地方公共団体の仕事に、負担金、補助金という形で支出しているお金です。そのおもなものは生活保護費、保育所費、養護老人ホーム費、学校給食・学用品扶助費などです。足立区は生活保護家庭が多いため民生関係費が27億円となっています。

その他——都支出金、諸収入、自動車取得税交付金などです。都支出金は上記国庫支出金とほぼ同じ性質で、都が支出するお金です。また国勢調査、商工業などの指定統計の委託費もここに含まれます。

歳出



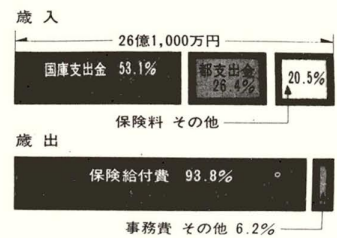
注. 千万円未満四捨五入

民生費——生活に困っている人たちの援護やおとしり、婦人、こどもの福祉、保健衛生などの費用です。この民生費の56%が生活保護費にあ

特別会計

国民健康保険特別会計

国保に加入しているかただけを対象にしています。加入された方が納める保険料と、国からの負担金、補助金、都からの交付金がおもな歳入となります。歳入はお医者さんにかかったとき支払う療養給付費や、赤ちゃんが生まれたときの助産費(1件10,000円)、それに死亡したかたのための葬祭費(1件5,000円)などが保険給付費として計上してあります。その他無料健康相談、健康家庭の表彰など保健衛生普及費があります。



用地特別会計

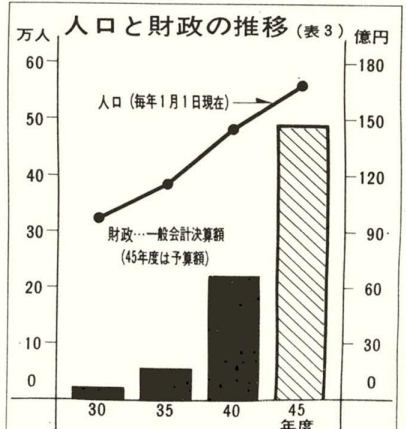
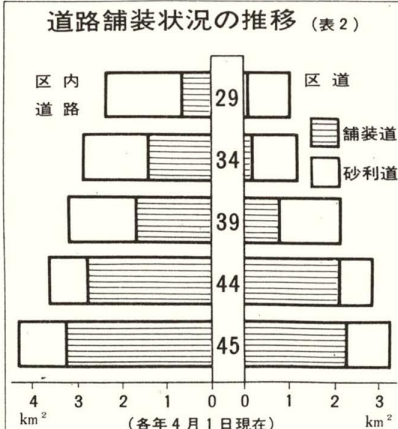
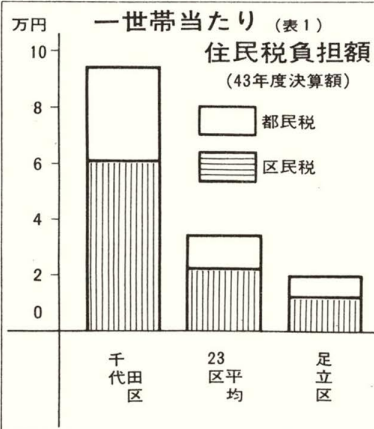
学校・保育園など、施設の建設用地の取得を容易にするための会計で、歳入は財産収入が3億円、諸収入が40万円合計3億0040万円です。これは全額用地買収費として使われます。

てられています。これは生活保護をうけている人が区民の3%、16,948人(45年4月1日現在)にもなっているためです。

教育費——学校教育、青少年・成人の社会教育に使う費用です。人口の増加とともに児童・生徒数も年々増加の一途をたどっています。その最も重要な学校施設建設に22億1,166万円、教育費の44%が当てられています。

土木費——道路・水路・公園・児童遊園などの整備や、大きな社会問題になっている公害防止に使う費用です。道路の舗装は(表2参照)年5%ぐらいつ進んでいます。まだ十分といえませんが、5年後には区道のほとんどが舗装される予定です。

その他——区を運営するための総務費、議会を運営する議会費、産業の振興に産業経済費等が含まれています。



区政三本の柱実現に

昭和40年度に「生活環境の整備」「青少年の健全育成」「社会福祉の充実」を区政三本の柱としました。そしてこの三本の柱の達成のため、41年度からこれに伴う行政施設建設五か年計画をたてました。今年はその第五年次です。一応区切りの年になります。

(46年度からは長期計画に基づいて新たな年次計画が立てられます) それらの事業に今年度予算がどのように使われているか、おもなものをとりだしてみました。

歳出予算のあらまし

- 街路燈1,183燈を設置 4,337万円
- 伊興町前沼地内ほか27か所6,034mの水路改良と防護柵5,717mの取り付け 3億3,000万円
- 公園等の整備
- 中央公園ほか17か所の新設改良 1億4,000万円
- 区内公園に区の木(けやき、いちよう、プラタナス)と常緑樹1,000本を植樹 1,000万円
- 北千住駅前広場造成(45年度分) 4,025万円
- 環境衛生対策
- カとハエの駆除 3,095万円
- バキュームダンパーによる側溝清掃 2,754万円
- 西新井駅前公衆便所設置 393万円

社会福祉の充実

- 保育対策
- 学童保育クラブ設置 花畑小学校ほか5か所 1,113万円
- 保育園施設の充実 747万円
- 公私立保育園児におやつを支給 781万円
- 保育室(未認可保育所)の運営委託として1人当り月1,500円を助成 326万円
- 福祉施設の建設
- 西部区民福祉センターの建設(追加)1,700万円
これは区内三番目のセンターで、鹿浜二丁目に建設され、来春開設の予定です。(総工費約2億3,458万円、今年度は初度調弁と庭園の造成)福祉事務所、老人センター、児童館、図書室、講習室、区民ホールを併設した、鉄筋二階建て、延べ面積2,550m²の施設です。

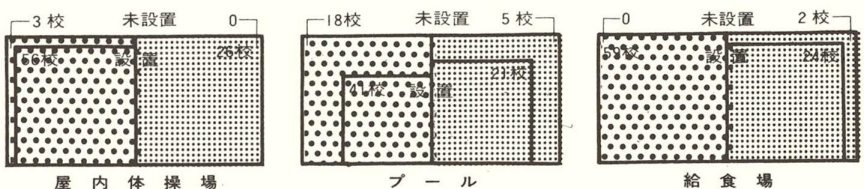


完成予想図

- 四中(8)、第十中(8)、第十三中(4)、第十四中(4)、東綾瀬中(4)
- 体育館の新築 4億6,171万円
千寿第四小、千寿第五小、本木小、寺地小、扇小、鹿浜小、鹿浜西小、栗島小、東栗原小、東加平小、花畑第一小分校、湘江第一小、湘江第二小、竹の塚小、第三中、竹の塚中
- プールの建設 9,238万円
梅島第二小、栗島小、弘道第一小、梅島第一小、第三中、第五中

教育施設設置状況 (45年度完成を含む)

□ 小学校 □ 中学校



生活環境の整備

- 交通安全対策
- ガードレール設置 10,000m 2,750万円
- 歩行者専用橋(花畑地区) 250万円
- 踏切道構造改良(東武伊勢崎線) 366万円
- 水路にふたがけして通学路用の歩道をつくる 保塚町地内ほか7か所2,870m 6,500万円
- 道路反射鏡、案内・警戒標識、その他施設の設置と保全 2,200万円
- 交通安全と献血の普及と宣伝 931万円
- 公害対策
- 亜硫酸ガス自動記録装置(新田図書館屋上に設置) 168万円
- 騒音・水質・ガス等の測定とパトロール、その他 307万円



道路、橋、水路の整備

- 道路、千住中居町地内ほか49か所 203,702m²を補修 3億4,500万円
- 道路拡幅、梅田町地内ほか6か所 1,525m 2億0,000万円
- 排水場施設の整備 4,000万円
- 私道整備と私道排水設備助成 3,500万円

学校教育の充実

「能力適性の伸長」「健康安全の推進」「情操意志の陶冶」を区教育の努力点としています。

■ 学校施設の充実

- 校地の拡張 5,200万円
千寿第四小、鹿浜小
- 校舎の新増改築 15億7,626万円
()内は特別教室を含む教室数
千寿第二小(8)、千寿第五小(4)、千寿第七小(6)、元宿小(6)、西新井第一小(8)、本木小(7)、寺地小(8)、高野小(3)、扇小(6)、鹿浜小(8)、鹿浜西小(3)、宮城小(3)、舎人小(9)、梅島第一小(12)、栗島小(13)、弥生小(6)、五反野小(8)、弘道小(3)、綾瀬小(12)、東湘江小(6)、北三谷小(6)、花畑第一小分校(12)、湘江小(6)、湘江第二小(3)、竹の塚小(6)、西新井第二小分校(24)、伊興小分校(18)、第

- 東部区民福祉センター、青年館の結婚式場に冷房設備 723万円
- めぐまれない人の援護対策
- 生活保護世帯の小・中学生に、夏季栄養食品セットと学童服を支給 1,910万円
- 生活保護世帯の老人(70~74歳)におこづかいを支給 130万円
- 重度心身障害者(児)に見舞品 120万円
- 心身障害児のレクリエーション 61万円
- 自立の生計を立てるために生業資金 700万円

青少年の健全育成

- 遊び場対策
- 児童遊園の新設改良
本木一丁目ほか15か所 4,478万円
- 青少年の集会、遊び場に学校開放(校庭・体育館・教室)小・中学校60校 756万円
- 図書館の充実
- 千住、宮城、新田図書館に冷房設備 314万円
- 図書館、地域図書館の図書充実 2,465万円
- 小・中学生の校外活動
- 少年団体の育成 469万円
- 少年合唱団、鼓笛隊の運営 187万円
- 体育の向上に
- 各種スポーツ講習会 128万円
- 体育施設の維持管理 755万円

その他

- 電子計算機による事務機械化 7,634万円
- 中小企業融資に 3,346万円
- 道路、公共溝渠等の台帳作製 2,460万円
- 貨物自動車(ロードローラー運搬用)湿地ブルトーザなどの購入 1,376万円
- 国勢調査実施経費 2,791万円
- 第四中、第十中に給食場の建設 2,504万円
- 第十二中に校庭連絡歩道橋設置 420万円
- 教育内容の充実
- 特殊学級(小学校18学級、中学校17学級)の備品充実 350万円
- 六中に特殊学級を設置 73万円
- 小学校12校、中学校5校にビデオレコーダーを購入(49年度までに全校配置予定) 1,426万円
- 小学校261学級に児童用ロッカー設置 1,409万円